

地下鉄8号線(有楽町線) 延伸(豊洲-住吉)

開業目標 2030年代半ば

Q&A

Q1. ルートはどのように決めたのですか？

A1. 国の交通政策審議会の答申で位置付けられた区間について、既存の駅構造や護岸、公共用地の活用等を考慮したルートとなっています。

Q2. 運行本数の計画は決まっていますか？

A2. 詳細は東京メトロにおいて今後検討されますが、日中は8本/時、朝ピークは12本/時が想定されています。

Q3. 中間新駅の出入口はどこに設置されますか？

A3. 駅の出入口については、鉄道利用者の利便性を考慮し、各種法令等を遵守したうえで、東京メトロが検討していきます。

Q4. 中間新駅の駅名はどのように決まるのですか？

A4. 中間新駅の駅名は、今後、東京メトロが検討を進め、決定することとなります。
なお、区では地域の声を聴いたうえで、駅名に対する区の考えをまとめ、東京メトロへ伝えることとしており、具体的な方法について今後検討を進めていきます。

住吉駅

(仮称) 千石駅

東陽町駅

(仮称) 枝川駅

豊洲駅

江東区都市整備部地下鉄8号線事業推進室
江東区東陽4-11-28

TEL 03-3647-8678 FAX 03-3647-9019
URL <https://www.city.koto.lg.jp/397101/kurashi/kotsu/kokyo/53247.html>

江東区 地下鉄8号線



2023.10



江東区観光キャラクター
コトミちゃん

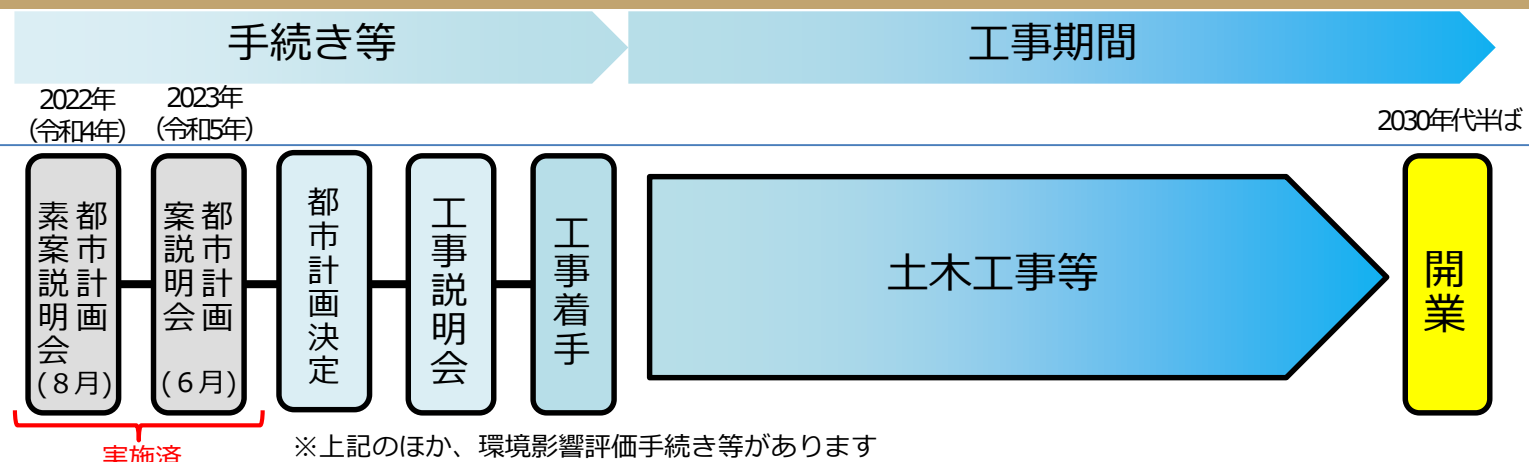
整備計画概要・整備効果

■地下鉄8号線の延伸により、有楽町線豊洲駅、東西線東陽町駅、半蔵門線住吉駅が結ばれ、区内外へのアクセス利便性が向上します。



※ 上図内数値等は、東京メトロの報道発表資料(令和4年3月28日)等に基づくものです
 ※1 鉄道空白地帯とは、本書においては最寄り駅まで徒歩10分(半径800m)以上の地域のことで
 ※2 例えば、東京メトロ東西線に輸送障害が発生した場合、本路線の整備により、東陽町駅から豊洲駅や住吉駅を経由して、都心部や千葉方面へ向かうことが可能となります

開業までの流れ



地下鉄8号線沿線のまちづくり

■地下鉄8号線の延伸を契機とし、都市計画マスタープラン2022の重点戦略の1つである、地下鉄8号線延伸のまちづくりを推進します。
 ■令和4年度は、沿線まちづくりの基本的な方向性を示す、「江東区地下鉄8号線沿線まちづくり構想」を策定しました。

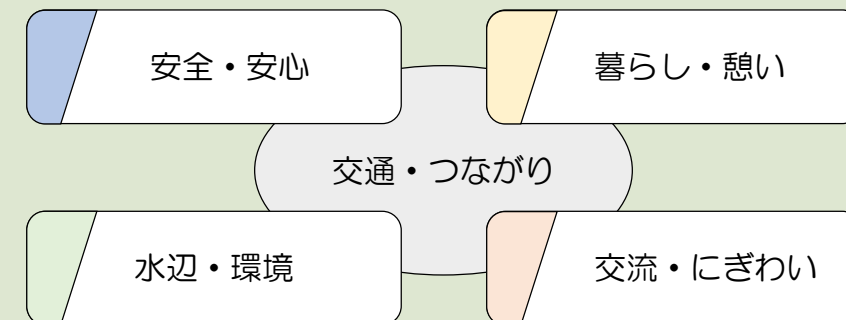


江東区地下鉄8号線沿線まちづくり構想

沿線まちづくり事業HP▲



沿線まちづくりのテーマ



目指す姿

沿線全体	住吉駅
『人・暮らし・自然を相互につなぎ 一体的に発展する「快適環境都市」』	『様々な機能がつながり、高い生活利便性を備える活動都市』
(仮称)千石駅 『みどり連なり、下町人情あふれる 安心快適な定住拠点』	東陽町駅 『伝統と未来をつなぎ、水辺と緑あふれる ウォーカブルな交流都市』
(仮称)枝川駅 『水辺に囲まれ、安らぎとにぎわいが調和する環境推進拠点』	豊洲駅 『水辺環境を活かし、持続的に発展する 安全安心な次世代都市』

■本構想を基に各駅周辺のまちづくりを順次推進していきます。

ルート・駅位置等

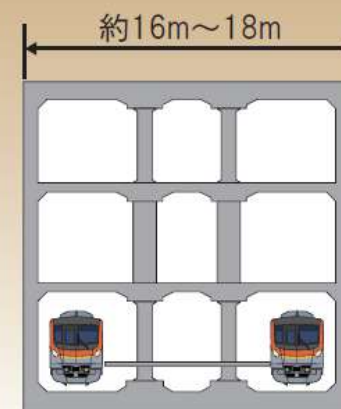
■都市計画案及び環境影響評価書案の説明会（令和5年6月）において、東京都及び東京メトロより、以下のとおりルートや駅位置等が示されました。

平面図



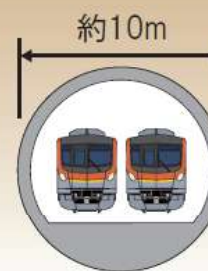
標準横断面図

駅部

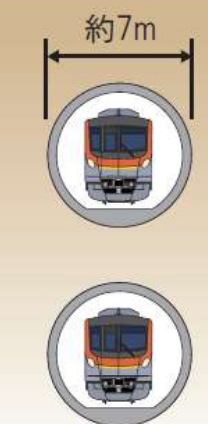


駅間部

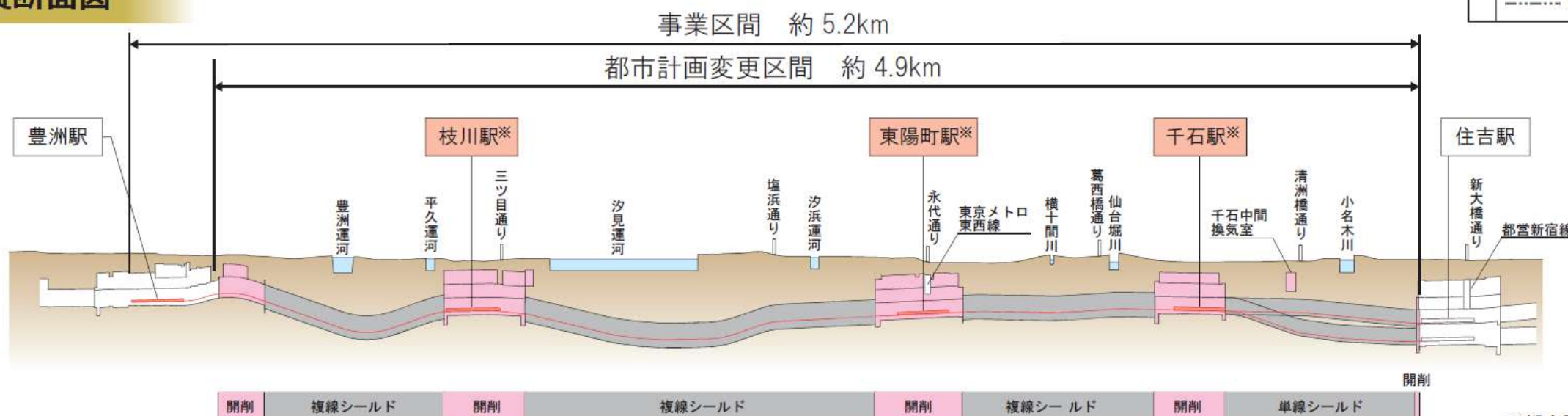
複線シールド



単線シールド



縦断面図



※都市計画上の名称であり、今後、東京メトロが駅名を決定します。

※ 平面図・縦断面図・標準横断面図の出典：「都市計画案及び環境影響評価書案のあらまし 東京都都市計画 都市高速鉄道第8号線 東京メトロ有楽町線の分岐線（豊洲～住吉間）計画及び本線（豊洲駅改良等）計画について」（令和5年6月、東京都・東京地下鉄株式会社）